

Eames Leg Splint

Origin Asset Physical Baseline

OM オブジェクト研究データ オリジン アセット物理基準記録



Collection ID OM-LS-001

Document ID OM-ORD-LS-001

Final Public Edition Version 1.0

2026-09-10

22degrees Origin Museum OM

© 2026 22degrees. All Rights Reserved.

01 Record Identification

記録識別情報

Field	Record
Object	Eames Leg Splint
Collection ID	OM-LS-001
Document ID	OM-ORD-LS-001
Record class	OM Object Research Data Origin Asset Physical Baseline
Status	Final Public Edition Version 1.0
Baseline year	2026
Primary photographic record	OM-PD-LS-001 Version 1.0 Final Master Edition 2026-08-13 有効一次写真 122 点
Prepared and preserved by	22degrees Origin Museum OM

現行 Collection ID は OM-LS-001 である。旧公開文書に存在する EOM-LS-001 等の旧 ID は、過去資料を追跡するための歴史的相互参照として保持し、本記録の現行 ID としては使用しない。

02 Purpose of the Physical Baseline

物理基準記録の目的

本記録は、OM-LS-001 という一個体が 2026 年時点でどのような物理状態にあったかを、将来再確認できる形で固定するための資料である。対象は個体全体であり、特定日の測定作業や一つの損傷箇所を中心とする調査報告ではない。

この Physical Baseline は、形状、主要寸法、成形合板の構造、開口部、刻印、表面状態、亀裂、積層状態、重量および写真証拠を一つの記録へ統合する。将来の再調査では、2026 年の状態と比較し、反り、変形、積層剥離、亀裂進行、摩耗、表面変化、刻印の判読性および重量等の変化を確認する。

Leg Splint は OM ORD Standard Method Version 1.0 の Pilot Object ではない。Pilot Object は Zenith Plastics 製 Salmon Pink Arm Shell である。本記録は、Origin Asset に必要な範囲に限定した、必要十分な個体別 Physical Baseline である。

Integrated Physical Baseline 個体全体の基準状態

OM-LS-001 は、一体の成形合板によって構成された Leg Splint である。全長の主要基準値は 1,068 mm で、露出断面では 5 層の木質単板が確認されている。左右 5 対と中央 1 か所を合わせた 11 か所の貫通開口部を持ち、EVANS PRODUCTS COMPANY、MOLDED PLYWOOD DIVISION、LOS ANGELES, CALIFORNIA、円形メーカー印および S2-1790 の表示が確認されている。

2026 年の観察範囲では、資料の全体形状は保持されている。局所的な亀裂状線、擦傷、淡色の摩耗、小規模な凹み、光沢差、表面摩耗および局所的表面損傷が確認される。一方、大規模破断、大きな欠損、広範囲な積層剥離、大きな反り、顕著なねじれ、大規模な接着線破壊および明確な全面再仕上げは確認されていない。これらは目視可能な範囲についての記録であり、内部状態や過去の処置の不存在を証明するものではない。

Data Classification データ分類

Class	Meaning
MEASURED	OM が実物を直接測定したデータ
OBSERVED	OM が実物を直接観察した事実
REPORTED	前所有者、販売者または第三者等から得た情報
INFERRED	実物、写真または資料比較等から導いた推定または解釈

確度は CONFIRMED、APPROXIMATE、UNVERIFIED、UNKNOWN、NOT EXAMINED、N/A を用いる。WITHDRAWN および SUPERSEDED は測定履歴上の状態として別に記録する。

03 Object Configuration

調査時の資料構成

Physical Baseline の対象は成形合板製 Leg Splint 本体である。測定に用いた巻尺、L 字型金属定規、支持台およびシート等は調査補助具であり、資料本体の構成には含めない。付属品の完全な有無は本記録では確定していない。

開口部の左右は内側または凹面側から見た方向を基準とし、左を L、右を R とする。上端から順に左右 5 対を O-01-L から O-05-R までとし、中央の 1 か所を O-06-C とする。合計は 11 か所である。

04 Baseline Measurement Data

主要測定値

次表は OM-LS-001 全体を把握し、将来の保存状態と比較するために必要な主要測定値をまとめたものである。異なるセッションの値は統合せず、測定位置と定義を分けて保持する。

ID	Item	Value	Type and certainty	Evidence and note
LS-M01	Overall Length	1,068 mm	MEASURED CONFIRMED	P103 P104 P122
LS-M02	Upper Maximum Width	199 mm	MEASURED CONFIRMED	正式 PD セッション P101 P102
LS-M03	Upper Maximum Width	201 mm	MEASURED CONFIRMED	後発 ORD 準備セッション 別値として保持
LS-M04	Central Waist Width	137 mm	MEASURED CONFIRMED	中央部のくびれ幅 P100
LS-M05	Width at approx 520 mm from upper end	156 mm	MEASURED CONFIRMED	位置約 520 mm は APPROXIMATE
LS-M06	Lower Width	155 mm	MEASURED CONFIRMED	P098 P099 後発記録では下端から 70 mm
LS-M07	Maximum Height	approx 108 mm	MEASURED APPROXIMATE	P105 P106 P107 定義衝突あり
LS-M08	Vertical Maximum Height	approx 98 mm	MEASURED APPROXIMATE	後発 ORD 準備 定義衝突あり
LS-M09	Lamination Thickness	5.1-5.8 mm	MEASURED CONFIRMED RANGE	P108-P115
LS-M10	Weight Measurement 1	705.0 g	MEASURED CONFIRMED	P120
LS-M11	Weight Measurement 2	703.0 g	MEASURED CONFIRMED	P121 確認範囲 703-705 g
LS-M12	Manufacturer Stamp Overall Width	79.2 mm	MEASURED CONFIRMED	P074-P078
LS-M13	Opening O-01-L	46.5 x 16.1 mm	MEASURED CONFIRMED	長さ x 幅
LS-M14	Opening O-01-R	49.0 x 16.9 mm	MEASURED CONFIRMED	長さ x 幅

積層厚について写真から明確に読める個別値は 5.8、5.2、5.2、5.1、5.8 mm である。読めない値は推測しない。重量は 703.0 g と 705.0 g の個別値および 703-705 g の確認範囲を保持し、平均値へ置き換ええない。

05 Material and Structural Baseline

材料と構造

Observation	Baseline record	Classification
Material form	一体の成形合板製本体	OBSERVED CONFIRMED
Ply count	露出断面で 5 層の木質単板を確認 5-ply	OBSERVED CONFIRMED
Openings	左右 5 対 10 か所と中央 1 か所 合計 11 か所の貫通開口部	OBSERVED CONFIRMED
Wood species	科学的同定を実施していない	NOT EXAMINED UNKNOWN
Adhesive	組成分析を実施していない	NOT EXAMINED UNKNOWN
Surface treatment	材料分析を実施していない	NOT EXAMINED UNKNOWN

Ply Count には接着層および表面仕上げ層を含めない。O-01-L と O-01-R 以外の開口寸法は未測定であるが、残りの開口をすべて測定することは本 Baseline の完成条件としない。Light Transmission は成形合板製 Leg Splint の本記録には適用せず、N/A とする。

06 Markings and Identifiers

刻印と識別表示

Observed marking	Record	Classification
EVANS PRODUCTS COMPANY	実物で確認	OBSERVED CONFIRMED
MOLDED PLYWOOD DIVISION	実物で確認	OBSERVED CONFIRMED
LOS ANGELES, CALIFORNIA	実物で確認	OBSERVED CONFIRMED
Circular maker mark	緑色系インクによる EVANS PRODUCTS COMPANY 円形印	OBSERVED CONFIRMED
S2-1790	表示の存在と読み取りを確認	OBSERVED CONFIRMED
MODEL PY #600	本個体の観察範囲では確認されていない	OBSERVED CONFIRMED Not Observed

S2-1790 は、本個体固有の Serial Number とは断定しない。既存比較資料との関係から stock number または product designation との対応が示唆されるが、この解釈は INFERRED UNVERIFIED とする。刻印インクの組成は分析していない。

07 Physical Condition Baseline

物理状態の基準記録

本章は、OM-LS-001 全体の 2026 年時点の状態を記録する。亀裂は重要な確認対象であるが、表面、積層、形状、刻印および資料全体の連続性と同じ **Physical Baseline** の一部として扱う。

Area	2026 baseline	Status
Overall integrity	全体形状を保持している。大規模破断または大きな欠損は観察範囲で確認されていない。	OBSERVED CONFIRMED within visual scope
Form	大きな反りおよび顕著なねじれは確認されていない。全面的な形状測量は未実施。	OBSERVED CONFIRMED within visual scope
Lamination	広範囲な積層剥離および大規模な接着線破壊は確認されていない。内部 bond condition は未確認。	OBSERVED internal condition UNKNOWN
Crack like features	局所的な亀裂状線を確認。深さ、内部層への進展および活動性は未確認。	OBSERVED CONFIRMED depth UNKNOWN
Surface	軽微な擦傷、淡色の摩耗、表面摩耗、光沢差、小規模な凹みおよび局所的表面損傷を確認。	OBSERVED CONFIRMED
Linear features	規則的な線状特徴を確認。線状特徴のすべてを亀裂または接着線破壊とは分類しない。	OBSERVED interpretation limited
Repair and alteration	視覚観察では明確な補修証拠および全面再仕上げを確認していない。	No evidence identified during visual examination
Marking condition	主要表記を読み取ることができる。将来の判読性比較に正式写真を用いる。	OBSERVED CONFIRMED

Largest Visible Crack Area 目視上最大の亀裂部分

LS-C01 は、2026 年 9 月 8 日に保存者が実物を直接比較し、本個体で目視上最も大きい亀裂部分として確認した重点観察箇所である。円弧状端部近傍の開口部に隣接し、接合状の線の端部付近から長手方向へ延びる。2026 年 8 月から 9 月 8 日まで、目視上の進行は確認されていない。

LS-C01 の長さ、最大幅、深さおよび内部層への進展は測定または確認していない。目視上の最大性は、全亀裂を数値測定して順位付けした結果ではない。将来は位置、可視端点、開き方および周辺表面を写真で比較する。

08 Photographic Evidence References

写真証拠との対応

本 Baseline の主要な写真証拠は、OM-PD-LS-001 Version 1.0 Final Master Edition である。有効一次写真は 122 点で、Photo ID は OM-PD-LS-001-P001 から P122 までである。派生画像 D001 および D002 は一次写真と区別する。

ORD subject	OM-PD-LS-001 reference
Overall Length	P103 P104 P122
Upper Width	P101 P102
Central Waist Width	P100
Lower Width	P098 P099
Maximum Height	P105 P106 P107
Lamination Thickness	P108-P115
Weight	P120 P121
Manufacturer Stamp Width	P074-P078
Markings and Identifiers	P055 P072-P078 P096
Condition and Crack Evidence	P071 P079-P087 P092-P093
Edges Openings and Lamination	P088-P091 P094-P095 P097 P116-P119

2026 年 9 月 8 日の補助写真は、測定端点と LS-C01 を補足する内部証拠として別に保持する。既存 P 番号は変更せず、補助写真を P123 以降として追加しない。補助写真は正式 PD122 点を置き換えず、本 ORD の中心的な写真系列にも位置づけない。

09 Measurement History and Conflicts

測定履歴と定義の衝突

Record	Current treatment
Overall Length 1,168 mm	Reading error のため WITHDRAWN。現在値として使用しない。
Upper Width 199 and 201 mm	異なる Measurement Session の値として併存させる。平均化または片方への統合をしない。
137 and 156 mm	137 mm は中央くびれ幅、156 mm は上端から約 520 mm 地点の幅であり、測定位置が異なる。
Maximum Width 156 mm	最大幅という旧用途は SUPERSEDED。約 520 mm 地点の幅 156 mm とは別に扱う。
Maximum Height approx 108 and 98 mm	斜方向と垂直方向という後発整理がある一方、正式 PD の定義と衝突する。未解決の Measurement Definition Conflict として保持する。

Supplementary Measurement Session 2026 09 08 9 月 8 日の補足測定

このセッションは Physical Baseline 全体を構成する多数の記録の一つであり、既存基準値を置き換えるものではない。全長は両端の最外端間を曲面に沿わず直線で測定し、巻尺と L 字型金属定規を用いた。高さは畳の上に置いた硬いシートの上面を基準面とした。

Item	Five readings	Recorded range	Treatment
Overall Length	1,065 1,066 1,068 1,068 1,069 mm	1,065-1,069 mm	別セッションとして保持
Maximum Height	103 104 105 104 103 mm	103-105 mm	旧高さ記録の訂正值としない

反復値は平均値へ置き換えない。セッション内の読み取り範囲を資料の物理的変動幅または校正済み誤差範囲とは解釈しない。

10 Research Limitations

研究上の限界

- 破壊試験および chemical analysis は実施していない。
- 木材樹種の科学的同定、接着剤組成分析および表面処理材料の分析は実施していない。
- 内部 bond condition は未確認であり、X-ray または CT 等も実施していない。
- 刻印インクの分析は実施していない。
- 亀裂の深さ、内部層への進展および活動性は確認していない。
- 一部測定値には過去の測定方法差があり、高さの定義衝突は解決していない。
- 2026 年 8 月 1 日の正式撮影にはグレーカードおよび標準色票が含まれていない。写真から正確な色値を確定しない。
- JPMA 色票比較および分光測色は NOT EXAMINED である。
- 全開口部、全亀裂および全面厚さ分布の数値測定は実施していない。
- 測定器具の型式、校正状態、測定時温湿度および一部セッションの日付は未確認である。

これらの未実施事項は Physical Baseline の境界条件である。未測定または未分析の項目を推測で補わず、将来必要になった場合に新しい Measurement Session または Observation Session として追加する。

11 Preservation Monitoring Baseline

今後の保存状態確認

将来の確認では、まず正式 PD と同じ方向からの写真比較および非接触目視を行う。変化が疑われる場合に限り、必要な測定を追加する。5 年後、10 年後、20 年後は比較時点の目安とする。

Priority	Target	Compare	Method	Frequency
A1	Overall form	反り、ねじれ、接地姿勢、局所変形	同方向の全体写真と目視	各確認時
A2	Lamination edges and openings	新たな層間の開き、浮き、欠け、接着線破壊	押し広げず斜光目視と既存接写比較	各確認時
A3	LS-C01 and other visible cracks	位置、可視端点、開き方、周辺表面	全体位置写真と詳細写真	各確認時
A4	Surface and markings	摩耗、局所損傷、光沢差、刻印判読性	位置と角度を合わせた写真比較	各確認時
B1	Weight	全体重量の変化	同一または同等の秤と条件を記録	必要時
B2	Dimensions	形状変化の定量確認	変化が疑われる箇所だけ測定	必要時

定例確認のために、11 開口すべての寸法測定、全亀裂の数値マッピング、毎回の全寸法再測定、測色または内部確認を行う必要はない。落下、水濡れ、保存場所移動、保存処置または急激な環境変化があった場合は、定例時期を待たず状態を確認する。

12 Revision History

改訂履歴

Date or version	Record
Historical date unknown	全長 1,168 mm を Reading error により WITHDRAWN。1,068 mm を現行の主要基準値として保持。
Historical date unknown	Maximum Width 156 mm という旧用途を SUPERSEDED。約 520 mm 地点の幅 156 mm は別記録として保持。
Historical sessions	上部幅 199 mm と 201 mm、高さ約 108 mm と約 98 mm をセッション別に保持。高さ定義の衝突は未解決。
2026-09-08	全長と高さを各 5 回測定し、LS-C01 の目視確認と補助撮影を実施。補足セッションとして保持。
Final Public Edition Version 1.0 2026-09-10	OM-LS-001 全体の 2026 年時点の物理基準記録として、主要測定、材料構造、刻印、物理状態、写真証拠、研究上の限界および保存監視項目を統合して公開版を確定。